# プログラミング基礎

http://bit.ly/prog2d

#### 配列

前期 第3週 2017/4/24

# 【Point 1】int型の5個の要素を持つ配列を宣言する (p. 185 図7-3)

```
1: #include <stdio.h>
2:
3: /* グローバル変数として宣言する */
4: int test[5];
5:
6: int test2[3] = {9, 3, 2};
7: int test3[] = {3, 5, 1, 6};
8:
```

【Point 2】配列の宣言と同時に初期化する (p. 190)

【Point 3】関数の外で宣言した変数はグローバル変数となり、プログラム中のどの関数からも参照可能

```
9: /* 関数のプロトタイプ宣言 */
10: void show();
11:
12: /* 配列testの要素を出力する */
   void show()
14:
15:
       int i;
16:
        for(i=0; i<5; i++) {
17:
           printf("test[%d]: %d\n", i, test[i]);
18:
19: }
20:
```

【Point 4】配列testの添字に変数 i を使う (p. 185)

```
21: int main(void)
                        【Point 5】配列testの0番目~4番目
22:
                      の要素に値を代入する (p. 185 図7-3)
23:
        int i;
24:
25:
        test[0] = 80;
26:
        test[1] = 60;
27:
        test[2] = 22;
28:
        test[3] = 50;
29:
        test[4] = 75;
30:
31:
        show();
32:
```

【Point 6】scanf()による入力の際は、何番目の要素なのかを添字で指定し、&を付ける (p. 187)

```
32:
33:
        printf("i > ");
34:
        scanf("%d" , &i);
35:
        printf("test[%d] > ", i);
36:
        scanf("%d" , &test[i]);
37:
38:
        show();
39:
40:
        return 0;
41: }
```

【Point 7】配列の添字を指定する場合、配列の大きさを超えないようにする必要がある(ここで、i を0より小さい または 5以上の値を指定すると、存在しない要素にアクセスすることになってしまう)(p. 188)

#### 【練習3-1】

サンプルプログラムをコンパイルして、 実行結果を確認しましょう。

## 【課題3-1】

関数show()を参考にして、引数で指定した範囲の要素に対して値を出力する関数show\_range()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
void show_range(int s, int e);

/* show()の繰り返し処理がs~e番目になるように作ってみる */
/* s <= e となることを前提にしてよい */
/* (つまり s > e の場合を考慮しなくてもよい) */
```

# 【課題3-1】

```
[main()での処理]
 show range(1, 3);
 show range(2, 4);
[実行例]
                (←1番目から3番目の要素出力されている)
 test[1]: 60
 test[2]: 22
 test[3]: 50
                (←2番目から4番目の要素出力されている)
 test[2]: 22
 test[3]: 50
 test[4]: 75
```

#### 【課題3-2】

#### 引数で指定した2つの要素が持つ値を入れ替える関数 swap\_array()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
void swap_array(int i, int j);
/* 配列testのi番目の要素とj番目の要素の値を入れ替える */
```

```
[main()での処理]

printf("average: %lf\n", average(30, 20, 40));
printf("average: %lf\n", average(15, 8, 21));

[実行例]

average: 30.000000
average: 14.666667
```

# 【課題3-2】

```
[main()での処理]
 /* 配列testには、サンプルプログラム25~29行目のよう
   に値が代入されているとする */
 swap_array(2, 3);
 swap array(1, 4);
 show();
[実行例]
 test[0]: 80
 test[1]: 75
 test[2]: 50
 test[3]: 22
 test[4]: 60
```

## 【課題3-3】

配列testの要素が持つ値に対して、何番目の要素が 最小値なのかを調べる関数min\_array()を作成して ください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
int min_array();

/* まず、最初の最小値の場所を0番目とする */

/* 0~4番目(1~4番目でも可)の要素に対して、最小値との比較を繰り返す */

/* 比較の際、最小値よりも小さいの値を持つ要素があった場合は、
最小値の場所を更新する */

/* 最小値は何番目の要素なのかを戻り値とする */
```

## 【課題3-3】

```
    [main()での処理]
    /* 課題3-2の処理後の配列testに対して実行した場合 */
printf("min_array: %d\n", min_array());
    [実行例]
    min_array: 3 (「3番目の要素が最小値である」という意味)
```

#### 【課題3-4】

配列testの指定した範囲内の要素が持つ値に対して、 何番目の要素が最小値なのかを調べる関数 min\_range()を作成してください。

```
    [この関数のプロトタイプ宣言]
    int min_range(int s, int e);
    /* 先程の課題で作ったmin_array()を参考に、
    s番目~e番目の要素に対する処理になるように作ってみる */
    /* s <= e となることを前提にしてよい */</li>
    /* (つまり s > e の場合を考慮しなくてもよい) */
```

#### 【課題3-4】

```
[main()での処理]

/* 課題3-2の処理後の配列testに対して実行した場合 */
printf("min_range: %d\n", min_range(0, 2));
printf("min_range: %d\n", min_range(2, 4));

[実行例]

min_range: 2
min_range: 3
```

# まだ余裕のある人は… 【**課題3-5**】

配列testに対して、要素の値を昇順(小さい順)に 並び替える関数sort\_array()を作成してください。

関数min\_range()とswap\_array()を利用します。

# 【課題3-5】

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
void sort array();
 /* 配列testの0番目~4番目までの要素に対して、
   次のような処理を繰り返す(繰り返し処理中の要素はi番目とする) */
     min range()を使って、i番目から4番目の中から、
 /*
     どこに最小値があるのかを探す */
     swap array()を使って、i番目の値と、最小値を入れ替える */
 /*
 /* このような処理を繰り返すと...、
   ● 0番目の要素には、0~4番目の最小値が格納され(つまり一番小さい値)
   ● 1番目の要素には、1~4番目の最小値が格納され(つまり次に小さい値)
   ● 2番目の要素には、2~4番目の最小値が格納され(つまり次の次に小さい値)
   ● 3番目の要素には、...
   となり、結果として、配列の値が昇順に整列される */
```

## 【課題3-5】

```
[main()での処理]
 /* 配列testには、サンプルプログラム25~29行目のよう
    に値が代入されているとする */
 sort array();
 show();
[実行例]
 test[0]: 22
 test[1]: 50
 test[2]: 60
 test[3]: 75
 test[4]: 80
```